

# あいち病害虫情報 最新情報

平成26年10月17日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 今後の気温は高い見込み

10月16日名古屋地方気象台発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並の予想です。

## 露地野菜の細菌性の病害に注意！

キャベツ及びハクサイの軟腐病や黒腐病などの細菌が原因となる病害は、風雨により発生が助長されます。台風19号の影響を受けたほ場では、抗生物質剤や銅水和剤などを散布するなどして、防除しましょう。なお、銅水和剤を用いる場合は、炭酸カルシウム剤（クレフノンなど）を加用して、薬害の発生を防ぎましょう。

## オオタバコガ、シロイチモジヨトウの発生に引き続き注意！

フェロモントラップにおける誘殺数は、オオタバコガ及びシロイチモジヨトウはやや多く、コナガはおおむね平年並です。気象予報によれば、今後、気温は高い見込みで、チョウ目害虫の発生に好適な条件が続きますので、引き続き防除しましょう。なお、コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。

## イチゴの病害虫

炭疽病は、気温が高い状況が続くと発生が助長されます。また、台風19号の影響を受けたほ場では発生状況に留意して、発病株を速やかに抜き取った後、農薬を散布するなどして防除を徹底しましょう。

9月下旬調査において、うどんこ病の発生をすでに確認しており、平年より発生時期が早くなっています。また、ハダニ類の発生はやや多い状況でした。うどんこ病、ハダニ類とも多発した後では防除が難しくなりますので、初期防除を徹底しましょう。

## ダイズの害虫

ミナミアオカメムシの発生量はほ場間での差が大きい状況です。オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数はやや多く、発生の多いほ場も見られます。気象予報によれば、今後、気温は高い見込みで、害虫の発生に好適な条件が続きます。吸実性カメムシ類やチョウ目害虫の発生が多いほ場では、収穫前日数に注意して農薬で防除しましょう。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室  
TEL 0561-62-0085 内線471 FAX 0561-63-7820